

グループ対抗里山デジカメ選手権入選作品決定

～公開審査会の結果概要～

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、下記のとおり「平成24年度グループ対抗里山デジカメ選手権」の公開最終審査会を開催しました。この選手権は、里山に暮らす動植物や森林づくり活動、森林環境教育活動などの撮影を通じて、里山の現状や役割を多くの人に伝えることを目的とし、今年で6回目となります。

今年は、「身近な森林(もり)の再発見!!」をテーマに写真3枚1組を1作品として募集したところ、学校、森林・林業活動グループ、企業・家族など全国から65グループの応募があり、この中から一次審査を通過した30グループが最終審査に進みました。

最終審査では、一次審査を通過した各グループの代表が日頃の活動や作品の説明、里山への思いをスピーチし、単に映像の美しさにとどまらず、作品に込められたメッセージ性も審査し、写真家の今森光彦氏、農学博士の只木良也氏、フリーアナウンサーの青山佳世氏の3名と前川局長も審査に加わり、最優秀賞1点、里山賞1点、優秀賞7点に、審査員が特に選んだ審査員特別賞1点を設け計10点の入選作品を決定しました。

記

- 1 日 時：平成24年10月28日(日) 12：15～15：45
- 2 場 所：京都市下京区 梅小路公園緑の館（1Fイベント室）
- 3 参加者：約70名
- 4 審査員
今森光彦氏（写真家）
只木良也氏（農学博士）
青山佳世氏（フリーアナウンサー）
- 5 審査結果（別添のとおり）

平成24年度グループ対抗里山デジカメ選手権入選作品一覧

◎最優秀賞(林野庁長官賞)

- ◆「森とあそぶ」 トヨタの森 A (愛知県豊田市)
大原満枝 原田秋男 原田敬子

◎里山賞

- ◆「明るい森に」 京都府立北桑田高等学校C班 (京都府京都市)
岩崎夢乃 中井悠 藤原菜世

◎優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)

【一般部門】

- ◆「偶然の出会い」 箕面大好き親子 (大阪府箕面市)
川部由美子 川部一雄
- ◆「秋の里山」 特許調査部 (東京都大田区)
鈴木聡 今永直子
- ◆「ミッション! SATOYAMA
『里山ってわかるかなあ』」 写ベスト1 (大阪府高槻市)
須賀修平 中川卓

【森林・林業活動部門】

- ◆「森は眠らない」 トヨタの森 B (愛知県豊田市)
川田奈穂子 杉山時雄 伊吹あゆみ
- ◆「ちびっ子探検隊の
大発見」 NPO法人 やまぼうし自然学校 (長野県上田市)
佐藤明希 西澤純子 瑞慶覧明子

【学校部門】

- ◆「里山で生きている」 岡山県立高梁城南高等学校チーム A (岡山県高梁市)
藤澤遥 福田絵理
- ◆「木漏れ日」 広島県立庄原格致高等学校Fチーム (広島県庄原市)
平田滉 須応僚哉 西村陸斗

◎審査員特別賞

- ◆「大原にふりそそぐ光」 京都大原学院 大原っ子! (京都府京都市)
伊東里紗 後藤未沙
(左からタイトル名、グループ名、住所、下段に氏名を記載)

◎ 最優秀賞(林野庁長官賞)

「森とあそぶ」

トヨタの森A（愛知県豊田市）
大原満枝 原田秋男 原田敬子



メッセージ

11月中旬、アベマキの葉が黄色く色づきます。アベマキはトヨタの森を代表する樹種。トゲトゲの大きなパンツ（殻斗）のドングリのなる木です。森に遊びに来る子供たちもリスやネズミなどの動物たちもドングリが落ちるのを楽しみに待っています。大きなノッポのアベマキの木の根元に寝転んで、落ち葉でふかふかの地面を背中を感じながら目を閉じると鳥たちの声、風の音…森のおしゃべりが聴こえてきます。

テレビの番組で見たチーズころがしをまねて、アベマキの幹の輪切りをチーズに見立て、「森のゴロゴロチーズころがし」をしました。丘の上から転がしてゴロゴロゴロゴロどこまで転がっていくのかを競います。秋の森での親子参加のイベントプログラムは大人も子どもも大喜び！森に歓声が響きました。

森の斜面でソリ遊びをしました。大きな木のソリに乗った子どもたちの嬉しそうな笑顔。スピードがでてスリル満点だけれど、楽しくて何度でも挑戦したくなってしまいます。一番うしろに乗っている白い髭のおじさんが、このソリの製作者。ソリは、すべりながらカートをチョンとつけると速さや向きが変わって面白い！そんな体中で感じる楽しさを子どもたちに体験させてあげたいと言いつつ…いちばん楽しんでるのは大人のような気がします。

ライフスタイルが変わって、自然とのかかわり方がずいぶん変わってきましたが、まずは、森に来て楽しく過ごすこと。楽しい遊びの中からさまざまな発見があります。

◎里山賞

「明るい森に」

京都府立北桑田高等学校C班（京都府京都市）

岩崎夢乃 中井悠 藤原菜世



メッセージ

北桑田高校の森林リサーチ科が実習しているところです。

手入れの行き届かない暗い森では木の根元に草たちが育たず、土が豊かになりません。草がないと雨が降ったとき土が流されてしまいます。私たちは、木が入り組みすぎて暗くなってしまった森を、明るく健康な森にするために間伐していきます。

スギの香りで満たされた森の中の作業。間伐した木の枝を切り落として、木材の長さを4メートルにそろえています。これを、林業用の機械が通れる道まで、みんなで運びます。倒したばかりの木は思ったよりも重いのです。足元にも気を付けながら、ちょっとよろける時もありますが、木を置くまで責任をもって運びます。

帰り際にいったん振り返って、明るくなった森を見わたすときがその日の授業の仕上げです。そのひとつひとつが地道な作業ですが、その日の作業が間違いなく少しでも森を明るくした、そう実感できる瞬間を写真におさめてみました。

◎ 優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)【一般部門】

「偶然の出会い」
箕面大好き親子（大阪府箕面市）
川部由美子 川部一雄



「秋の里山」
特許調査部（東京都大田区）
鈴木聡 今永直子



◎ 優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)【一般部門】

ミッション！ SATOYAMA
『里山ってわかるかなあ』
写ベスト1 (大阪府高槻市)
須賀修平 中川卓



◎ 優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)【森林・林業活動部門】

「森は眠らない」

トヨタの森B

(愛知県豊田市)

川田菜穂子 杉山時雄 伊吹あゆみ



「ちびっ子探検隊の大発見」

NP0法人 やまぼうし自然学校

(長野県上田市)

佐藤明希 西澤純子 瑞慶覧明子



◎ 優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)【学校部門】

「里山で生きている」

岡山県立高梁城南高等学校チームA

(岡山県高梁市)

藤澤遥 福田絵理

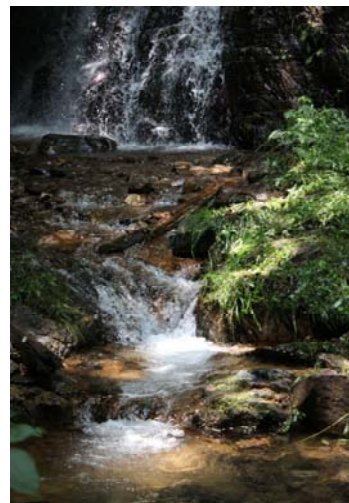


「木漏れ日」

広島県立庄原格致高等学校Fチーム

(広島県庄原市)

平田滉 須応僚哉 西村陸斗



◎ 審査員特別賞

「大原にふりそそぐ光」
京都大原学院 大原っ子！
（京都府京都市）
伊東里紗 後藤未沙

